

授業改善推進中期プラン 国語 [小学校第4～6学年]

昭島市立 中神小学校

学年等		項目	内 容
令和4年度 第4学年	令和4年11月	学習に関する児童の実態・課題	読書が好きな児童が多く、空いた時間に集中して本を読んでいる。課題として、既習の漢字を用い文を書くことを苦手とする児童が多い。また、自分の考えを書く活動を苦手と感じている児童が多く、考えをまとめ、文章を構成する力が不十分である。また、文章の読み取りでは、何を聞かれているのかが明確にすることができない児童もいる。ローマ字の読み書きに慣れていない児童が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	主に、文章を読む力が不十分であるため、問題を理解し、聞かれていることだけを読み取ることに指導を重点化したい。
		具体的な授業改善の方策	漢字の反復練習を毎日実施し、漢字に対する苦手意識を克服する。サイドラインや書き抜き、吹き出しなど読み取るための方法や要約の方法を指導する。毎日3行日記を書くことで、自分の考えをまとめ、既習漢字を用いて文を書く機会を確保する。日常の言語活動を通して語彙を増やし、表現する活動を多く取り入れる。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	漢字に対する苦手意識は多くの児童が克服し、第4学年までに習う漢字を身に付けることができた。文章の読み取りに関しては、何を問われているかを考えて答える力を高める必要がある。
令和5年度 第5学年	令和5年11月	学習に関する児童の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	文章を読み、意味を理解する力。 自分の考えや意見を言語化する力。
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	定期的に読書をする機会を設けたことで、様々なジャンルの本に挑戦する児童が増えた。また、その中で、様々な文章に触れ、文章に対する苦手意識が減少してきたことが成果である。今後の課題は、読み取った内容を自分でまとめ、自分の言葉や考えとして表現する力を育てていくことである。 漢字に関しては、新出漢字を活用した熟語として調べ学習をすすめ、知識をつけることができた。
令和6年度	令和6年10月	学習に関する児童の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	

第 6 学 年		具体的な授業 改善の方策	
	年度 末	小学校6年間 のまとめと中学 校への引継事 項	